

福津市 子ども・若者育成支援に関する調査（調査票案）

【 ご協力をお願い 】

市民の皆様には、日頃から行政の推進について、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本市では、令和6年度に、「子ども・若者育成支援」などに関する計画を策定します。本調査は、高校生世代から34歳までの方に、生活の状況や悩みなどについて、おうかがいするものです。

ご多忙のところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年7月

福津市

ご記入にあたってのお願い

- 1 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。最後に、自由記述欄もあります。
- 2 回答は無記名であり、統計的に処理します。また、本調査の目的以外に利用することはありません。

本調査はインターネットで●月●日（●）までに回答をお願いします。

■ スマートフォンで回答する場合

右の二次元コードを読み取り、回答画面を開いてください。

【回答用二次元コード】

■ パソコンで回答する場合

以下のURLより回答画面を開いてください。

<https://●●●●●●●●●●>

二次元コード

調査のお問い合わせ先

福津市役所 こども家庭部 こども課

〒811-3293 福津市中央1丁目1番1号

電話 (0940) 43-8124

メール kodomo@city.fukutsu.lg.jp

回答時間の目安：約20分

ご自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-----|-----|--------------|
| 1 男 | 2 女 | 3 その他・答えたくない |
|-----|-----|--------------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------|------------|
| 15～19 歳 | 30～34 歳 |
| 20～24 歳 | その他・答えたくない |
| 25～29 歳 | |

問3 あなたの現在の仕事をお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 学生・生徒（予備校生などを含む） | 8. 家族従業者・内職 |
| 2. パート・アルバイト | 9. 専業主婦・主夫 |
| 3. 派遣社員 | 10. 家事手伝い |
| 4. 契約社員・嘱託 | 11. 無職（仕事を探している） |
| 5. 正規の社員・職員・従業員 | 12. 無職（仕事を探していない） |
| 6. 会社などの役員 | 13. その他（ ） |
| 7. 自営業・自由業 | |

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 配偶者あり | 3. 配偶者なし（離婚） |
| 2. 配偶者なし（未婚） | 4. 配偶者なし（死別） |

問5 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------|----------------------|
| 1. 父 | 6. あなたの子 |
| 2. 母 | 7. その他の親族 |
| 3. きょうだい | 8. その他（ ） |
| 4. 祖父母 | 9. 同居している人はいない（単身世帯） |
| 5. あなたの配偶者 | |

問6 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とてもゆとりがある | 4. やや苦しい |
| 2. ややゆとりがある | 5. とても苦しい |
| 3. ふつう | |

ご自身の気持ちについて

問7 ご自身の気持ちに関する次の(1)～(10)について、それぞれ、どのくらいあてはまりますか。それぞれの項目について答えてください。(あてはまる番号1つに○)

	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまらない	あてはまらない
(1)今の自分が好きだ	1	2	3	4
(2)今、自分は幸せだと感じる	1	2	3	4
(3)自分の将来についての人生設計(ライフプラン)について、よく考えたことがある	1	2	3	4
(4)今の生活が充実している	1	2	3	4
(5)自分の将来に明るい希望を持っている	1	2	3	4
(6)うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む	1	2	3	4
(7)社会のために役立つことをしたい	1	2	3	4
(8)自分は役に立たないと強く感じる	1	2	3	4
(9)孤独であると感じることがある	1	2	3	4
(10)学校で出会った友人(現在通っている学校の友人、かつての同窓生など)と、いつもつながりを感じている	1	2	3	4

地域の人との関わりや、地域の居場所について

問8 あなたは、お住まいの地域に愛着をお持ちですか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても愛着がある | 3. あまり愛着がない |
| 2. ある程度愛着がある | 4. 全く愛着がない |

問9 あなたは、同世代の友人以外の地域の人々と、どの程度、付き合っていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. とても親しく付き合っている人がいる | 4. あいさつをする程度の人がいる |
| 2. 親しく付き合っている人がいる | 5. ほとんど付き合いがない |
| 3. 世間話をする程度の人がいる | |

問 10 あなたは、地域で困っている人を自分自身が助けたり、助けられたりすることに、どの程度、関心がありますか。（○は1つだけ）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. ある程度関心がある | 4. 全く関心がない |

問 11 次の(1)～(5)の場所は、今のあなたにとっての居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。それぞれの項目について答えてください。（あてはまる番号1つに○）

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
(1)自分の部屋	1	2	3	4
(2)家庭（親せきの家を含む）	1	2	3	4
(3)学校・職場	1	2	3	4
(4)地域（現在住んでいる場所やその周辺の施設など）	1	2	3	4
(5)インターネット空間	1	2	3	4

問 12 あなたは、地域に、どんな居場所があったらいいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|--|
| 1. 友だちや親しい人と落ち着いて話せる場所
2. 安心して体を動かす遊びができる場所
3. Wi-Fi やパソコンが自由に使える場所
4. 自分ひとりで時間を過ごせる場所
5. お金を使わず、地域の人と出会える場所
6. 家庭や学校で言えないことを聞いてくれる人がいる場所
7. その他()
8. 特にない |
|--|

外出の状況について

問 13 あなたは今までに、いわゆる「引きこもり」など、生活を円滑に送ることができない状態が「改善」した経験がありましたか。そのときに、役立ったことは何だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. そのような経験はない
2. 家族や親戚の助け
3. 友人の助け
4. 学校の先生に相談したこと
5. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
6. 地域の人の助け
7. 病院に行って相談したこと
8. 相談できる場所に行って相談したこと
9. 電話相談を利用したこと
10. SNSやメール相談などを利用したこと
11. 同じような経験をした人に話してみたこと
12. 就職・転職したこと
13. 趣味の活動に参加したこと
14. 時間がたって状況が変化した
15. 自分の努力で乗りこえた
16. その他 ()
17. わからない、答えられない

問 14 あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。（あてはまる番号1つに○）

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
 2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
 3. 遊び等で頻繁に外出する
 4. 人づきあいのためにときどき外出する
 5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
 6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
 7. 自室からは出るが、家からは出ない
 8. 自室からほとんど出ない
- 問 14-1 へ

問 14-1 へ

問 14 で「5.」～「8.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 14-1 あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校になじめなかったこと	9. 人間関係がうまくいかなかったこと
2. 小学校時代の不登校	10. 病気
3. 中学校時代の不登校	11. 妊娠したこと
4. 高校時代の不登校	12. 退職したこと
5. 大学（専門学校、短期大学等を含む）時代の 不登校	13. 介護・看護を担うことになったこと
6. 受験に失敗したこと（高校・大学等） こと	14. 新型コロナウイルス感染症が流行した こと
7. 就職活動がうまくいかなかったこと	15. その他（ ）
8. 職場になじめなかったこと	16. 特に理由はない
17. わからない	

問 14-2 外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。（あてはまる番号 1 つに○）

3 か月未満
3 か月～6 か月未満
6 か月～1 年未満
1 年～2 年未満
2 年～3 年未満
3 年～5 年未満
5 年～7 年未満
7 年～10 年未満
10 年以上

生活の悩みの相談について

問 15 あなたが、生活を円滑に送ることができない状態となったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所に相談したいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 同じ悩みを持っている、持っていたことがある人
2. 同世代の人
3. 同性の人
4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる窓口・サービス
5. 電話で相談できる サービス
6. SNSやメールなどで相談できるサービス
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる窓口・サービス
8. 自宅から近い窓口・サービス
9. 相手が自宅に来てくれるサービス
10. 無料で相談できる窓口・サービス
11. 公的な支援機関
12. 民間の支援団体（NPOなど）
13. 医師
14. カウンセラーなど心理学の専門家
15. その他（ ）
16. 誰にも相談したくない ⇒ 問 15-1 へ

問 15 で「16. 」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 相談したくないと思う理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分ひとりで解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他（ ）
13. 特に理由はない、わからない

ヤングケアラーについて

※「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども・若者のことです。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

「ヤングケアラー」の例



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

問 16 家族の中に、あなたが世話をしている人はいますか（お子さんがいる場合はお子さん以外で）。
あなたからみた続柄でお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1. 母親 | 5. きょうだい |
| 2. 父親 | 6. 配偶者 |
| 3. 祖母 | 7. その他（ ） |
| 4. 祖父 | 8. 世話をしている人はいない |

問 16 で「1. 」～「6. 」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問 17 世話を必要としている理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 高齢（65 歳以上） | 7. 依存症（アルコール、ギャンブルなど） |
| 2. 要介護（介護が必要な状態） | 8. その他の病気 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が不自由 |
| 4. 身体障がい | 10. その他（ ） |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. 精神疾患 | |

問 18 あなたが行っている世話の内容を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）
4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）
5. 通院の付き添い
6. 感情面のサポート
7. 見守り
8. 通訳（日本語や手話など）
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他（ ）

問 19 世話をしているために、やりたいけどできないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校や仕事に行きたくても行けない
2. 学校や仕事を遅刻・早退してしまう
3. 睡眠が十分に取れない
4. 遊びや息抜きができない
5. 習い事ができない、もしくは辞めた
6. 好きなことにお金を使えない
7. 希望する進路を選べない
8. 自分の時間がとれない
9. その他（ ）
10. 特にない

子ども・若者への支援について

問 20 あなたは、子ども・若者への支援について、行政にどんなことに取り組んでほしいですか。（あてはまる番号すべてに○）

1. 子ども・若者が地域活動に参加するきっかけを作る
2. 子ども・若者が気軽に立ち寄れる居場所を充実する
3. 将来の進路選択の参考になるよう、学生への職業体験の機会づくりに取り組む
4. 仕事をやめた若者が適職を見つけられるよう、体験の機会づくりに取り組む
5. 結婚を考える若者どうしの交流のきっかけを作る
6. 子ども・若者が悩みごとを相談できる窓口を充実する
7. 生活が苦しい子ども・若者やその家庭を支援する
8. 学校に行けない人の人生にプラスになる地域の居場所を作る
9. 引きこもりがちな若者に寄り添い、社会参加につながるよう支援する
10. 子ども・若者の意見を聴き、施策に反映する機会を増やす
11. その他（ ）
12. 取り組んでほしいことは特にない

「こどもまんなか社会」への意識について

問 21 国は、全てのこども・若者が権利を守られながら、幸せに暮らし、健やかに成長できるよう、こども・若者の視点に立ち、当事者の意見を政策に反映させながら、社会全体で支援していく「こどもまんなか社会」をつくることを目指しています。あなたは、「こどもまんなか社会」を目指すことに対して、どのように感じますか。（○は1つだけ）

1. 「こどもまんなか社会」の趣旨に賛同するし、期待できる
2. 「こどもまんなか社会」の趣旨には賛同するが、あまり期待できないと思う
3. 「こどもまんなか社会」の趣旨には賛同できない

問 22 福津市のこども・若者の育成環境に関する次の(1)～(5)について、あなたの認識に近いものをそれぞれの項目について答えてください。（あてはまる番号1つに○）

	そう 思う	そう 思う どちらか という	そう 思う どちらか という	そう 思わない	わ か ら な い
(1)福津市は、家庭や子育てに夢を持ち、喜びを感じられる地域である	1	2	3	4	5
(2)福津市では、こども・若者が地域の様々な活動に参加している	1	2	3	4	5
(3)福津市では、大人たちがこどもの意見・考えを考慮して物事を進める環境がある	1	2	3	4	5
(4)福津市のこども・若者の育成環境は、国籍、性、障がいの有無、経済状況などによるいかなる差別も行わないことが徹底されている	1	2	3	4	5
(5)福津市では、こどもが安心して暮らし、一人一人の個性や能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援が十分に行われている	1	2	3	4	5

問 23 「こどもまんなか社会」など、子育てやこどもの育ち、若者の育成支援などに関して、自由に意見をお書きください。

～ 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 ～